

氷菓「サクレ」や中華まん等を製造するスマート工場と研究開発拠点を整備 生産機能・商品開発力を強化することにより、売上収益の最大化を図り、持続的な成長を実現

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

- 変化の激しい時代にあっても、私たちの変わることのない企業使命である「**おいしさと楽しさ、安全と安心**」を常に追求しながら、お客様の立場に立った、お客様にご満足いただける商品とサービスを提供している。

<長期成長ビジョン>

- 当社は1945年に設立し、今年で80周年を迎える。**設立100周年に向け、持続的な成長を実現するため**、外部環境・内部環境を踏まえた**大規模な設備投資を実行するものである。**
- 大規模設備投資を通じ、**企業使命を体現するとともに、売上高350億円・営業利益26億円を達成させ、持続的な成長を実現していく。**

<具体的な取組み内容>

(1)企業使命「おいしさと楽しさ、安全と安心」を実現するための取組み

- FSSC22000の認証取得による食品安全体制を構築
- 工場見学コース設置による観光需要の喚起、安心安全の訴求
- 研究開発機能強化による商品ラインナップの強化、品質の向上

(2)売上高350億円の達成及び持続的な成長に向けた取組み

- 新工場の建設や工場機能の最適化による製品供給力の強化
- 広告宣伝等によるブランド力強化、国内外の販売戦略の強化
- 自動生産ラインやデジタル化による生産性向上、歩留まり率の改善
- 太陽光設置、グリーン電力使用等に環境配慮型の生産拠点の整備

売上成長目標（2024年8月期～2030年8月期）

- 売上高成長率 51.4%
- 売上高増加額 118.9億円
(2024/3期 売上高231.1億円に対して、2030/8期 売上高350億円)

会社全体の賃上げ目標

- 4.8%（直近事業年度～基準年度）
- 6.4%（基準年度～事業化報告3年目）

外発的動機

◆ アイスクリーム類・氷菓市場の規模拡大

アイスクリーム類・氷菓市場は、商品の高付加価値化や平均気温の高まりもあり、市場規模が拡大傾向、また輸出額も拡大基調にあり、潜在的な需要が高い。市場動向に合わせた生産能力強化や海外展開等の販路強化の必要性がある
→積極的な設備投資による生産能力の強化、商品開発力の強化

◆ カーボンニュートラル、SDGsへの対応

栃木県を代表する企業として、持続可能な社会を実現するため、カーボンニュートラル・SDGsへの対応が社会的責任として求められる
→環境に配慮した生産拠点の整備

◆ 少子高齢化の社会構造の変化

人手不足が顕在化しており、人手に頼らない生産体制の構築が必要
また、国内人口構造や当社の販売シェアを踏まえた販売戦略の再構築が必要
→スマート工場の建設、ブランド力の強化、西日本エリアの販路拡大

内発的動機

◆ 生産能力の限界

アイス・中華まんにおいて新規の引合いの対応や営業強化を行いたくても、生産キャパシティが限界であるため、新規受注や増産対応ができない状況
(アイス・中華まんの潜在的な需要があるものの供給ができない)
→新工場建設による生産体制の強化や各工場の生産性向上

◆ 人手不足・従業員の安定的な採用

人手不足により、年々採用活動が難しくなっている状況
中華まんの生産拠点の分散や手作業の工程もあり、非効率な生産体制
→スマート工場の建設による省人化、職場環境改善による採用強化

◆ 新商品の開発体制の強化や原材料価格高騰への対応

食品業界では、商品サイクルが早く季節商品の開発や売れ筋商品の改良を常に行っていく必要がある。また、カカオ等の原材料価格の高騰に対応するため、効率的な製造技術等の高度化を図っていく必要がある
→開発体制の強化、オープンイノベーションの取組み強化

氷菓トップメーカーとして、ブランド力の向上及び安定した製品供給体制を構築するため、大型設備投資によるスマート工場を整備し、売上収益の飛躍的な成長を実現する

補助事業の背景・目的

- 主力のサクレ・中華まんをはじめ各製品は、工場の生産キャパシティが限られ、更なる増産対応ができない状況。
- 本事業では、生産能力の強化を図るため、省力化・省人化をコンセプトとしたスマート工場の建設に加え、製品や素材等の研究開発拠点を整備する。
- 本事業を通じて、サクレにおける生産能力1.8倍・生産性2.4倍、中華まんにおける生産性1.7倍へ向上させ、年平均年6.5%の高い賃上げを実現する。**

**事業費
(補助額)**

168億円
(50億円)

設備投資の内容

(1) 設備目的

- ①主力サクレの増産、②中華まんの生産性向上、③工場機能の最適化、④研究開発の機能強化
- ⑤物流の効率化、⑥デジタル技術を活かした業務効率化、⑦見学コース設置によるPR強化

【完成イメージ】



(2) 実施場所

栃木県鹿沼インター産業団地に先進スマート食品工場及び研究開発拠点を整備する。

事業実施場所：栃木県鹿沼市深津 鹿沼インター産業団地4街区 敷地面積：43,600m²

事業所名称：フタバ食品 鹿沼工場 延床面積：20,896m²

(3) 設備概要

項目	設備金額	設備内容
建物費	105億円(税別)	アイス、中華まん、マロングラッセ、ゼリーの食品製造工場 その他、研究開発施設、自動保管倉庫、見学コース等を併設
機械装置費	63億円(税別)	アイス製造ライン(サクレ及びバルクアイス) 35億円、中華まん製造ライン16億円、 マロングラッセ製造ライン4億円、ゼリー製造ライン8億円



目標値

項目	2026年度（基準年度）	2029年度（基準年度 + 3年後）
労働生産性 (単位：万円/人)	908万円	1,566万円 (年平均上昇率 + 19.9%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	475万円	574万円 (年平均上昇率 + 6.5%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率 + 6.0%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	437人	460人